

講義科目名称： 小児看護学特論

授業コード： 6630400100

英文科目名称： Advanced Child and Family Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎大久保明子			
添付ファイル			

授業種類	<b>【開講】</b> 前期 <b>【授業時間】</b> 30時間  <b>【担当教員】</b> <b>【氏名】</b> ◎大久保 明子 <b>【所属】</b> 新潟県立看護大学 <b>【研究室】</b> 207 <b>【メールアドレス】</b> ohkubo@niigata-cn.ac.jp  <b>【大学の科目区分】</b> 専門分野  <b>【DP1】</b> ◎ <b>【DP2】</b> ◎ <b>【DP3】</b> <b>【DP4】</b> <b>【DP5】</b> <b>【DP6】</b>			
------	--	--	--	--

到達目標	1. 小児看護の実践に必要な小児期の発達の特徴が説明できる。 2. 発達心理学の小児看護実践への活用方法について考察し、説明できる。
------	---

授業概要	「ベーシック発達心理学」のテキストに沿って、小児期の発達の特徴、および発達心理学の小児看護実践への活用方法について、プレゼンテーションと討論により、理解を深める。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：・小児看護において発達心理学を学ぶ意義 ・学習の進め方 備考：大久保  2 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：発達のとらえ方 学修内容：遺伝と環境・生涯発達の視点 備考：大久保  3 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：乳幼児期の発達1 学修内容：胎児期・周産期の発達とケアへの活用 備考：大久保  4 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：乳幼児期の発達2 学修内容：感覚・運動の発達とケアへの活用 備考：大久保  5 授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：乳幼児期の発達3 学修内容：愛着の発達とケアへの活用 備考：大久保  6 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：乳幼児期の発達4 学修内容：自己と感情の発達とケアへの活用 備考：大久保  7 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：乳幼児期の発達5 学修内容：認知の発達とケアへの活用方法 備考：大久保  8 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：乳幼児期の発達6 学修内容：言語の発達とケアへの活用 備考：大久保
------	--

	9	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・討議 学修課題 : 乳幼児期の発達 7 学修内容 : 社会性の発達とケアへの活用 備考 : 大久保
	10	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・討議 学修課題 : 乳幼児期の発達 8 学修内容 : 遊び・仲間関係とケアへの活用 備考 : 大久保
	11	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・討議 学修課題 : 発達を支える 1 学修内容 : 学習の理論とケアへの応用 備考 : 大久保
	12	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・討議 学修課題 : 発達を支える 2 学修内容 : 発達障害と支援 備考 : 大久保
	13	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・討議 学修課題 : 発達を支える 3 学修内容 : 心と行動の問題および児童虐待とケア 備考 : 大久保
	14	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・討議 学修課題 : 学童期以降の発達 学修内容 : 学童期・青年期の認知発達とケアへの活用 備考 : 大久保
	15	授業内容 授業形態 : 討議 学修課題 : まとめ 学修内容 : 小児看護と発達支援 備考 : 大久保
事前・事後学習	<b>【事前学修】</b> テキストを読み、概要をまとめる。かつ、疑問点や不明点、討議したいテーマをまとめる。 適宜、関連文献や資料を検索・収集する。 <b>【事後学修】</b> 講義や討論を踏まえて、自己の看護実践を振り返る。	
評価方法、評価基準	到達目標 1・2 に対して、プレゼンテーション（50%）と討論への参加度（50%）で評価する。	
テキスト	開一夫、斎藤慈子（編）（2018）：ベーシック発達心理学，東京大学出版会	
参考図書・資料等	各自が検索・収集する。	
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。	
教員からのメッセージ	小児看護を実践する上で子どもの発達の理解は重要です。子どもの発達についてより深く理解できるよう、主体的な参加を期待します。	
オフィスアワー	事前にメール等で予約をしてください。	